

【別紙 7】

道路維持補修業務実施要領

1 章 共通事項

1 基本方針

受注者は、対象施設について、利用者及び第三者の安全確保を最優先とし、要求水準を満たす状態を維持するよう業務を実施する。

2 要求水準未達時の対応

受注者は、巡回時や住民等からの通報を受け現地の確認を行い、要求水準を満たさない状態(以下「未達状態」という。)を確認した場合、又は未達状態が疑われる場合は、安全確保を最優先として、速やかに必要な措置を行う(応急措置を含む)。

3 例外事象の取扱

災害等の外力、第三者行為等の事象により、要求水準を一時的に満たさない状態が生じる場合がある。この場合においては、受注者は安全確保を最優先として必要な応急措置等を実施し、発注者へ報告する。

2 章 施設別要求水準

1 車道

利用者が通常想定される方法で通行する限り、事故の発生又はそのおそれが生じない状態を維持する。路面不良、段差、落下物等により、通行中に著しい速度低下や車線閉塞等を招き、円滑な通行を阻害するおそれがある状態が確認された場合は、安全確保を最優先として速やかに是正する。

2 歩道

利用者が通常想定される方法で通行する限り、段差、舗装の破損等により安全な通行を阻害しない状態を維持する。路面不良、段差、落下物等により、円滑な通行を阻害するおそれがある状態が確認された場合は、安全確保を最優先として速やかに是正する。

3 排水構造物

側溝等の閉塞、土砂堆積、破損、蓋のがたつき・欠落等により、降雨時を含めて道路区域内及び隣接する範囲における滞水又は冠水が発生し、通行車両や歩行者等の安全な通行を阻害しない状態を確保する。道路排水に起因する沿道浸水等により、第三者の身体若しくは財産に影響を与えるおそれがある状態、著しい滞留による公衆衛生上の

支障をきたしている状態が確認された場合は、安全確保を最優先として速やかに是正する。

なお、表 1 の路線においては、これまで毎年側溝土砂撤去を行ってきた実績を踏まえ、年 1 回以上の土砂撤去を継続して行うこと。

表 1 側溝土砂撤去路線リスト

路線名	延長・体積	目安の時期
市道和田町17号線	L=3.0km 90m ³	5月～8月
市道登町1号線	L=2.4km 70m ³	
市道須波3号線	L=1.9km 60m ³	
市道須波24号線	L=0.1km 3m ³	
市道幸崎66号線	L=0.7km 20m ³	
市道沼田東町北部41号線	L=0.5km 10m ³	
市道小泉町66号線	L=0.3km 10m ³	
市道小泉町67号線	L=0.1km 1m ³	
市道小泉町68号線	L=0.1km 2m ³	
市道沼田西町10号線	L=0.2km 5m ³	
市道沼田東町南部20号線	L=0.1km 2m ³	
市道沼田東町南部20号線	L=0.1km 2m ³	
市道本町16号線	L=0.8km 20m ³	
市道本町1号線	L=0.2km 6m ³	
市道本町47号線	L=0.1km 3m ³	
市道本町48号線	L=0.3km 8m ³	
市道駒ヶ原町3号線	L=0.2km 5m ³	
市道西宮29号線	L=0.2km 5m ³	
市道西宮40号線	L=0.2km 6m ³	
市道幸崎20号線	L=0.7km 20m ³	
市道幸崎68号線	L=0.3km 10m ³	
市道糸崎69号線	L=0.7km 20m ³	
市道小坂町18号線	L=0.5km 20m ³	
市道中之町60号線	L=0.2km 5m ³	
市道幸崎66号線	L=2.1km 70m ³	
市道沼田東町南部11号線	L=1.8km 60m ³	
市道中之町28号線	L=0.1km 3m ³	

4 道路附属物

(1) 防護柵

防護柵、防止柵等の破損、変形、腐食、ぐらつき、部材の欠落等により、車両逸脱時の防護機能が低下しない状態を維持する。未達状態が確認された場合は、安全確保を最優先として速やかに是正する。

(2) 道路照明

ア 支柱

支柱の腐食、亀裂、傾き、基礎部の損傷、ボルトの緩み等により、倒壊又は部材落下のおそれが生じない状態を維持する。未達状態が確認された場合は、安全確保を最優先として速やかに是正する。

イ 灯具

球切れ等による不点灯が生じない状態を維持する。未達状態が確認された場合は、速やかに是正する。

(3) 道路標識

ア 支柱

該当箇所を要因とし、支柱の腐食、亀裂、傾き、基礎部の損傷、ボルトの緩み等により、倒壊又は部材落下のおそれが生じない状態を維持する。未達状態が確認された場合は、安全確保を最優先として速やかに是正する。

イ 標識板

標識板の破損、変形、視認性の低下等の不具合を生じない状態を維持する。未達状態が確認された場合は速やかに是正する。

(4) 道路反射鏡

ア 支柱

該当箇所を要因とし、支柱の腐食、亀裂、傾き、基礎部の損傷、ボルトの緩み等により、倒壊又は部材落下のおそれが生じない状態を維持する。未達状態が確認された場合は、安全確保を最優先として速やかに是正する。

イ 反射鏡

反射鏡の破損、角度のずれ、固定部の緩み、視認性の低下等の不具合を生じない状態を維持する。未達状態が確認された場合は速やかに是正する。

(5) その他道路附属物

区画線等の路面標示及び視線誘導標等については、摩耗、損傷、欠落、倒伏等により、利用者が通常想定される方法で通行した場合に、車線逸脱、進行区分の誤

認、交錯の発生等を招き、事故が発生し、又は発生するおそれが生じない状態を維持する。未達状態が確認された場合は、安全確保を最優先として速やかに是正する。

5 橋梁

目視等により確認可能な損傷又は変状(路面の段差・沈下等)により、利用者の安全な通行を阻害し、又は部材の落下等により第三者に危害を及ぼすおそれが生じない状態を維持する。未達状態が確認された場合は、安全確保を最優先として速やかに是正する。

6 植栽

(1) 要求水準

利用者が通常想定される方法で通行した場合に、事故の発生やそのおそれが生じない状態を維持するとともに、区画線、視線誘導標等の道路附属物の視認が草木により妨げられない状態を維持する。また、街路樹が有する景観形成機能や都市環境の保全機能を十分に発揮させ、健全かつ良好な並木景観を維持・創出する。未達状態が確認された場合は、安全確保を最優先として速やかに是正する。

(2) 維持管理

街路樹及び街路緑地帯の管理作業の参考例を、次のとおり示す。

- ア 高木、中木及び低木の剪定
- イ 中木の寄植剪定
- ウ 施肥
- エ 灌水
- オ 補植
- カ 抜根除草

(3) 対象路線

街路樹及び街路緑地帯がある路線は表2のとおりである。

なお、表3の街路樹木及び街路緑地帯においては、これまで毎年決まった時期に剪定を行ってきた実績を踏まえ、年1回以上決まった時期に剪定を継続して行うこと。

表 2 街路樹木及び街路緑地帯路線リスト

路線名	街路樹	街路緑地帯
旭町 14 号線	○	○
城町 1 号線	○	○
古浜 1 号線	○	○
東町 1 号線	○	—
城町 12 号線	○	○
城町 32 号線	○	—
城町 25 号線	○	○
城町 30 号線	—	○
港町 1 号線	○	○
港町18号線	○	○
皆実80号線	○	○
円一町 1 号線	○	○
円一町 11 号線	○	○
港町15号線	○	○
宮浦 1 号線	○	○
宮浦 2 号線	○	○
宮浦51号線	○	○
宮浦81号線	○	○
宮浦10号線	○	○
宮浦34号線	○	○
皆実20号線	○	○
宮浦71号線	○	○
宮浦12号線	○	○
宮沖21号線	—	○
皆実81号線	—	○
頼兼15号線	○	○
西野62号線	○	○
西野26号線	○	○
宗郷 1 号線	○	○
明神 19 号線	○	○
宮沖13号線	○	○
本町50号線	—	○
本町52号線	—	○

表3 定期剪定街路樹木及び街路緑地帯路線リスト

路線名	剪定の時期
港町1号線	鳥のフン害が防止できる時期 (目安：9～10月)
城町1号線 (東2番ガード(南)交差点付近)	イルミネーション設置時期 (目安：10～11月)

7 清掃

(1) 管理水準

土砂、落下物、堆積物、倒木、ごみ、落葉、沿道からの枝木の張り出し等により、利用者が通常想定される方法で通行した場合に、事故が発生しない、又は発生するおそれが生じない状態を維持する。排水を阻害し、滞水又は冠水を助長するおそれがある状態が確認された場合は、安全確保を最優先として速やかに是正する。

(2) 実施方法

路面清掃、落下物撤去等の作業は、次の事項を踏まえて行うものとする。

- ア 通行を妨げる沿道からの枝木の張り出しについては、安全確保を最優先として必要最小限の応急措置を行い、速やかに発注者に報告の上、以後の対応について指示を受ける。
- イ 道路上に動物の死骸がある場合は、三原市環境施設課と持ち込みの調整を行った後、清掃工場に搬送・処理する。
- ウ 回収したごみ、土砂、枝葉等は、速やかに運搬し、関係法令及び仕様書に基づき処理する。
- エ 不法投棄を発見した場合は、現場状況を記録し、発注者へ報告の上、指示を受ける(必要に応じて安全確保の応急措置を行う)。

8 除草

路肩、法面、歩道端部等における雑草の繁茂により、利用者の視認性(見通し)が阻害されない状態、又は安全な通行が妨げられない状態を維持する。また、区画線、視線誘導標等の道路附属物の視認が雑草により妨げられない状態を維持する。未達状態が確認された場合は、安全確保を最優先として速やかに是正する。

除草した草の処理については、三原市環境施設課と持ち込みの調整を行った後、清掃工場に搬送・処理する。なお、表3の路線においては、これまで毎年除草を行ってきた実績を踏まえ、年1回以上の除草を継続して行うこと。

表3 除草路線リスト

路線名	面積	目安の時期
市道沼田西町78号線	4,370m ²	6月～9月
市道沼田東町北部141号線	1,710m ²	
市道沼田西町26号線	350m ²	
市道沼田西町27号線	2,740m ²	
市道沼田西町54号線	180m ²	6月～9月
市道沼田西町71号線	320m ²	
市道沼田西町78号線	4,370m ²	
市道沼田西町79号線	1,950m ²	
市道沼田西町80号線、81号線、94号線、95号線	1,880m ²	
西部工業団地管理道	360m ²	
市道明神3号線	1,040m ²	
市道須波西19号線	1,060m ²	
市道沼田東町南部11号線、市道幸崎66号線	4,270m ²	
市道幸崎1号線	1,420m ²	
市道幸崎20号線	710m ²	
市道須波西1号線	30m ²	
市道沼田東町北部1号線	1,230m ²	
市道沼田東町北部2号線	380m ²	
市道沼田東町北部17号線	2,700m ²	
市道沼田東町北部37・69号線	4,930m ²	
市道沼田東町南部67号線	20m ²	
市道沼田西町28号線	20m ²	
市道沼田西町39号線	1,180m ²	
市道小泉町22号線	1,470m ²	
市道小泉町47号線	930m ²	
市道小泉町64号線	380m ²	
市道宮浦2号線	30m ²	
市道宮浦51号線	230m ²	
里道（新倉）	130m ²	
市道宮浦69号線	110m ²	
市道宮浦98号線	170m ²	

市道宮浦 96 号線	130m2	
市道西野 1 号線	280m2	
市道西野 2 号線	590m2	
市道西野 62 号線	260m2	
市道宮沖 13 号線	50m2	
市道宮沖 35 号線	170m2	
市道円一町 1 号線	1, 570m2	6 月～9 月
市道糸崎 1 号線	650m2	
市道糸崎 164 号線	380m2	
里道（糸崎）	160m2	
市道西宮 29 号線	120m2	
市道西宮 40 号線	240m2	
市道深町 38 号線	2, 170m2	
市道長谷 49 号線	820m2	
市道長谷 50 号線	770m2	
市道東町 30 号線	80m2	
市道中之町 42 号線	290m2	
市道高坂町 78 号線	1, 100m2	

9 凍結防止剤

路面凍結するおそれがある道路及び橋梁に凍結防止剤を設置し、回収する。

(1) 設置時期

路面凍結するおそれがある時期（目安：11月頃）

(2) 回収時期

路面凍結がおそれがなくなった時期（目安：4月頃）

10 法定外道路（里道）

破損又は汚損、土石・汚物等の堆積、雑草の繁茂、不法投棄等により、通行に支障を及ぼさない状態を維持する。未達状態が確認された場合は、速やかに是正する。また、構造的な改良・大規模補修を要する場合は、発注者へ報告し指示を受ける。

法定外公共物等の管理作業の参考例を次のとおり示す。

（ア）草刈、除草（イ）剪定、伐採（ウ）防草シートの設置（エ）石積み補修（オ）投棄物処理（カ）単管パイプ柵設置（キ）注意看板等設置